

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	成人看護学実習Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対象学年	3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	各実習施設
担当教員	今若 広之 他	実務経験と その関連資格	総合病院の内科系、外科系病棟に看護師として勤務			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>疾病からの回復が困難、もしくは人生最期の時にある患者の発達段階をふまえて、身体的・心理的・社会的側面から理解する。また、患者およびその家族に対して、苦痛に向き合いながらも、安寧に過ごすことができるように、QOL 維持にむけての看護援助について学ぶ。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>1) 実習評価は実習日数の3分の2以上を出席したものを対象とする。 2) 評価は実習の全ての経過を対象とし、評価表に基づいて行う。 3) 実習目標の達成状況ならびに以下のことを踏まえ総合的に評価を行う。 ①実習出席状況 ②事前学習 ③実習記録 ④実習態度</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>専門分野Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学① 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 看護技術がみえる2 臨床看護技術 メディックメディア 系統看護学講座 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 医学書院 系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院 系統看護学講座 成人看護学① 成人看護学総論 医学書院 系統看護学講座 成人看護学⑤ 消化器 医学書院 系統看護学講座 成人看護学⑧ 腎・泌尿器 医学書院 その他各テキスト</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>実習前の事前課題、追加学習に取り組む</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>実習要綱を熟読し実習準備を十分にしておいて下さい。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
1 5 6 日 目	実習形式	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟の構造と機能、週間予定、日課などの情報を収集することができる。 ・病棟オリエンテーションを踏まえ、患者の入院環境と患者像を理解することができる。 ・受け持ち患者とのコミュニケーションや観察、記録から情報を収集することができる。 	病院資料	追加学習に取り組む	
		各コマにおける授業予定	1) 病院・病棟オリエンテーション 2) 受け持ち患者紹介、挨拶、説明と同意 3) 看護師に同行して援助の見学 4) 担当看護師や受け持ち患者とのコミュニケーションを通して情報収集、情報の整理 5) カンファレンス			
2 5 6 日 目	実習形式	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期にある患者の苦痛を理解し、緩和方法を考えることができる。 ・死の受容過程を理解し、その人らしく過ごせる支援を考えることができる。 ・チームの一員として連絡・報告・相談することができる。 ・実施した看護を評価・修正することができる。 ・実習前半を振り返り、自己の課題を明確にし、後半の実習に臨むことができる。 	各テキスト	追加学習に取り組む	
		各コマにおける授業予定	1) 行動計画発表 2) 看護師に同行しての援助の見学、実施 3) 日常生活援助の見学や実施、コミュニケーションを通して情報収集、情報整理 4) 実施した看護援助をSOAPで記録 5) カンファレンス 6) 中間評価(実習6日目)			
7 5 1 1 日 目	実習形式	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・終末期にある患者の苦痛を理解し、緩和方法を考え実施することができる。 ・死の受容過程を理解し、その人らしく過ごせる支援を考えることができる。 ・家族をチームで支援することの重要性がわかる。 ・チームの一員として連絡・報告・相談することができる。 ・実施した看護を評価・修正することができる。 	各テキスト	追加学習に取り組む	
		各コマにおける授業予定	1) 行動計画発表 2) 看護師に同行しての援助の見学、実施 3) 日常生活援助の見学や実施、コミュニケーションを通して情報収集、情報整理 4) 実施した看護援助をSOAPで記録 5) カンファレンス			

